



板橋区議会議員

区政報告レポート▶▶▶ 2018年 8月発行

山田たかゆき



通学路の安全確保

6月、大阪北部を震源とした地震は、都市機能をマヒさせ、広域に渡って被害を出しました。7月には西日本を中心に広域的に大雨の被害に見舞われました。亡くなられた方々には心よりご冥福をお祈り致します。また、被害に遭われた皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。

地震では高槻市内の公立小学校で小学4年生の児童が亡くなりました。明らかに建築基準法に違反した塀が原因によるものでした。国は毎日の通学路を点検するように方針を決めましたが、通学路となると土地所有者の協力や予算措置等の検討が急がれます。板橋区としては、自主的に学校施設へのブロック塀の有無と土木技術者による点検を終えました。緊急性の高い施設から、順次ブロック塀を解体・改修等し、安全性を確保していきます。

日本という災害の多い土地に住むことを自覚し、これまでの被害を教訓として対策を重ねる必要があります。板橋区内も低地や崖地があり、大雨による浸水被害や土砂災害が懸念されます。防災行政無線の動作や避難経路や避難場所の確認など区の防災対策を議会でチェックして参ります。日々の活動が人命を守ることにつながっているという責任を改めて自覚し、職責を果たしていきたいと考えます。

※ユニバーサルデザイン書体を使用しています



●プロフィール

山田 貴之 (やまだたかゆき)

1976年7月生まれ

1983年 サンシティ 聖母幼稚園卒園

1989年 板橋区立緑小学校卒業

1992年 板橋区立志村第四中学校卒業

1995年 都立小石川高等学校卒業(047F)

2000年 日本大学芸術学部卒業

2002年 ワシントン州立大学 留学

2003年 日本大学大学院芸術学研究科卒業

美術館学芸員(5年)

営業職(3年)

2011年4月 板橋区議会議員 初当選

2015年4月 板橋区議会議員 2期目当選

現在

● 板橋区議会議員 2期 7年

(2019年4月まで任期)

● 都市建設委員会委員

● 東武東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会委員

● 板橋区バトントワリング協会会長

● 日本部活指導研究協会外部相談役

● 障害者の表現活動相談ライツ学芸員アドバイザー

現在、妻と長男(7歳)と長女(5歳)と

板橋区中台在住

板橋区議会自民党
議員団の要望聴取会

6月、板橋区議会自民党議員団の要望聴取会を行いました。板橋区内30団体を超える代表の皆様にご来場頂きました。ご持参いただいた要望書拝見しながら、団体要望やご提言を頂きました。業界に通じている皆さまならではのご指摘は、非常に学ぶことが多く、新しい課題の気づきにつながります。さらに勉強や意見交換の機会が必要と判断されれば、国、都、区の担当者を招いて勉強会を開催もします。

今後、頂いたご要望は、私たち党派内で議論をし、速やかに会派要望として取りまとめます。区の予算に反映され、要望が実現するように、より良い板橋区にするために頂いたご意見やご指摘を生かしていきます。



板橋区土地開発公社、 土地評価審議会と評議員会

今月5月9日に開催された板橋区土地開発公社、土地評価審議会と評議員会をもって、会長職任期を終えられたのでご報告いたします。

昨年度も板橋区の将来にとって大切な土地の売買が行われました。これまでもプログや区政報告書を通じてご報告をさせて頂きました。児童相談所用地、加賀陸軍火薬製造所跡地、旧理化学研究所板橋分所の取得、板橋駅前B用地の売り払いなど総計約100億近い売買が行われ、

例年になく公社所有地及び区有地が動きました。

また、不燃化10年プロジェクトの取り組みも第1期の計画用地の土地取得は順調に進み、火災が広がらない街づくりへの期待が高まります。現地を視察して、買取宅地の価格や取得の可否を決めて参りました。区道の幅員が広がり、救急車両が通行できるようになる、延焼しづらくなるなどメリットがあります。

長く時間のかかる行政計画であります。区民の皆さまの声を大切にしながら、安全で安心な街づくりを着実に進めていきます。1年間、ありがとうございました。



都市建設委員会と東武東上線連続立体化・ 沿線治安対策調査特別委員会

5月、板橋区議会臨時会が開催され、全板橋区議会議員46名の今年度の所属委員会が決定しました。私は、都市建設委員会と東武東上線連続立体化・沿線治安対策調査特別委員会に所属して、主に板橋区のまちづくりについて専門

に審議していきます。区民の皆さまの安心安全や住みやすいまちづくりに貢献ができるように現場やデータを調査し、地域の皆さまの声を伝え、審議をリードしていきたいと思えます。

東武東上線連続立体化・ 沿線治安対策調査特別委員会

長いタイトルですが、昨年から設置された板橋区議会の特別委員会の名称です。その名の通りの内容を審議します。6月に行われた会議は、委員会メンバーが入れ替わって初めての開催でした。各委員会のその所管する内容は広範囲ですが、本委員会は重点課題に対して深く細やかな調査、審議が可能になります。まず、大山駅前付近は、平成33年度の事業認可を目指しています。



事業内容は、ごく簡単に言えば東武東上線を高架化して、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断を解

消していきます。また周辺の街づくりも進められます。私は、高架方式概算約340億の大規模な事業が少しでも地域経済の活性化になるように全庁的な検討を要望しました。例えば事務用品や食事等の調達に地域商店街を利用してもらえように入札の条件とする。工夫次第で可能性は多くあります。

その他、事業主体が東京都になる中で板橋区も主体者意識を持つことにあたることやアーケードに関する課題等の意見ができました。審議を重ねて、今年度中に国、東京都、東武鉄道に要請活動を行う予定です。



板橋区議会報告会2018

板橋区議会は区民の皆さまの福祉の向上を目的として、議会基本条例を制定していま

す。条例の中に議会報告会を開催して、区民の皆さまに開かれた議会を目指していま



私は企画総務委員会委員長としてご来場の皆さまに報告を行いました。今年になってから開催された審議内容、陳情の状況をご説明致しました。

議案第9号「東京都

板橋区職員定数条例の一部を改正する条例」、陳情第173号「市町村民税・都民税特別徴収税額の決定・変更通知書への個人番号記載中止を求める陳情」、陳情168号「板橋区駅前用地（B用地）計画案の見直しを求める陳情」の概要やその他の陳情審議結果をお伝えしました。

会場で頂いたご意見や質問にも、他の委員長同様にその場でできる限りのお答えをしました。たくさんの方に熱心なご参加を頂きました。ありがとうございました。

ブラインドウォークの ファシリテーター

※ファシリテーターとは、体験を客観的にサポートし、進行をしていく役割の者

ブラインドウォークのファシリテーターを続けています。目が見えないから不便なこともあります。でも視覚がないから、分かることもあります。その事に気づくためのお手伝いをしています。

われると、他者理解への思考を停止、停滞させてしまいがちです。「視覚に頼らない」いわゆる異文化への橋渡し役を元学芸員として実践してきた事を生かして続けます。他者を理解するための想像力を働かせる経験をブラインドウォークのワークショップで広めます。



山田 貴之 活動報告ブログ

日々の活動はブログ、FB、ツイッター等で発信をしています。閲覧を頂き、ご意見を頂ければ幸いです。

地域包括ケアシステムについての理解を深める視察を重ねています

● 風の風リハビリステーション 颯(そう)板橋の視察

風の風リハビリステーション颯（そう）板橋を視察させて頂きました。通所介護事業部の渡辺部長に施設見学と事業の概要内容を伺いました。「通所介護」とは、利用者（要介護者等）をデイサービスに通わせる中で日常生活上のお世話をすることです。例えば入浴、排泄、食事の介護、生活に関する相談や支援、健康状態の確認などを行います。（中略）民間事業者ならではの合理的な経営方針と高い公益性を学びました。60㎡以下のこじんまりした施設（お風呂と食事提供はなし）ですが、利用者ニーズに合致した施設に、通所介護施設のモデルとすべき事例、地域で歳を重ねていくことの展望を見た気がしました。



● 板橋区立成増 高齢者在宅サービスセンターの視察

板橋区立成増高齢者在宅サービスセンターに視察に伺いました。一般型のデイサービスと認知症対応型のデイサービスを同一施設内で開所しています。事業所責任者の樋口様に施設案内と概要を教えてくださいました。定員25名（本来なら35名）、施設規模よりも少人数を受け入れることで利用者へのサービスや居心地の良さを優先していると伺いました。（中略）お話を伺っている間、奥の部屋からは昭和の名曲を歌う楽しい声とギターの音が聞こえました。貴重な現場の声を伺いました。



障害者による 文化芸術活動の 推進に関する法律

参議院会館で行われた「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」成立の報告会に出席しました。参議員議員衛藤会長のもと、議員立法により沢山の関係者の力で成立をしました。

成立に尽力された各福祉団体28団体の代表者らが集まり、成立の喜びを共有してさ

「平成30年度 身近な 教育委員会」に参加

緑小学校PTA会長として「身近な教育委員会」に参加

をしました。教育行政の主体である教育委員会を広く区民に開かれたものにするため開催されました。板橋区内の小中学校PTA役員70名近くが教育委員会の審議とパネルディスカッションを傍聴し、グループ討議を行いました。初めに平成30年度教育予算の説明がされました。パネルディ

らに抱負を語りました。「法案成立は、東京オリンピックパラリンピックを契機にやりがいや生きがいひろがっていく、希望になる」と全国手をつなぐ育成会久保厚子会長が謝意を伝えました。

法律制定で終わりではなくスタートだとして、衆参超党派の国会議員は、予算確保を目指します。同席された文化庁文化部長は「法律の裏付けができた。計画をつくり、予算要求につなげる」、また厚生労働省福祉部長は「しっか

スカッションでは教職員の働き方改革は重要課題とされました。小中学校副校長や主幹教諭から現場の様子が具体的に語られ、私たち保護者と共有できたことは有意義でした。

グループ討議では、各班に別れて教育委員会各課長が加わり、保護者が学校に対して感じていることから質疑が始まり、率直な意見交換を行いました。最後に中川教育長から所感が述べられました。学校の役割は、「学力の定着向上」とそのものになる「幸せな環境を子供たちにつくりあ

り、文化庁と連携をとり計画づくり、体制づくりしていく」とそれぞれ意欲を示しました。

これから地方自治体にも影響を与えることになります。特に東京はオリンピックパラリンピックをするにふさわしい都市として、インクルーシブ、ダイバーシティの文化政策が広がるのが期待されます。私はオール・ブリュットの地域的な取り組みを継続していきますし、学芸員のキャリアを生かしてご期待に添い

「けること」。しかし、教職員だけでは難しく、保護者の協力が必要です。「そのためには当事者意識を持ってやって



たいと思います。

いきませんか。いきましよう」と、語られました。誰かにやつてもらうのではなく、私ごととして子供たちのために、学校のために考えて、動くこと。教育長の熱い想いを受けて、私もしっかりと役割を果たそうと思いました。PTA会長としても、区議会議員としても貴重な機会となりました。



おねがい

日々の活動はブログでも報告していますので是非ご覧ください！

編集後記

5月末日、サンシティ自衛消防・防災訓練がありました。住民参加224名、安否確認ステッカーの貼り出しは1173枚。消防訓練では、「火事だー！」と大きな声で言えたので、娘は花丸でした。「トラッキング」と聞いて「ライオンキング」のお友達？と娘が言いました。(笑)トラッキング火災は、コンセント周りのホコリや汚れが原因の火災で、住宅火災の原因のひとつです。ガオーと火を噴かないように気を付けたいです。



火の用心！

山田貴之事務所

ホームページ ▶ <http://yamadatakayuki.net>



twitter



Facebook

Ameba
Blog

ブログ、ツイッター、フェイスブックはホームページからアクセスできます。

皆さまのご意見・ご要望を是非お寄せください。

〒174-0064 板橋区中台 3-27-サンシティH棟 1608号室

TEL & FAX: 03-6755-5404 E-mail: desk.yamada@gaea.ocn.ne.jp